



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 ネットン(高周波熱錬株式会社) 上場取引所 東  
 コード番号 5976 URL <http://www.k-neturen.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝口 茂  
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 青井 隆明 (TEL) 03-3443-5441  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,931	△3.2	653	△40.2	734	△42.8	342	△58.2
2019年3月期第1四半期	13,356	20.7	1,092	30.0	1,282	24.8	819	16.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 431百万円(86.1%) 2019年3月期第1四半期 232百万円(△74.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第1四半期	円 銭 8.40	円 銭 —
2019年3月期第1四半期	19.98	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	80,013	64,355	72.5
2019年3月期	80,650	64,598	72.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 57,973百万円 2019年3月期 58,269百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	3.5	1,500	△20.8	1,800	△20.7	1,000	△27.4	24.51
通期	55,000	3.7	3,900	9.3	4,300	5.4	2,600	173.4	63.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	43,790,500株	2019年3月期	43,790,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,983,616株	2019年3月期	2,983,616株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	40,806,884株	2019年3月期1Q	41,007,476株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や設備投資の持ち直し傾向があったものの、海外経済への懸念等もあり停滞感が強まりました。また、世界経済においても米中貿易摩擦の長期化の影響や中国経済の減速懸念、日韓の緊張の高まりなど、景気の先行は依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、第14次中期経営計画「Accomplish V-20」（2018年4月より2021年3月までの3ヵ年計画）に掲げた基本方針である「新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入」、「現在と将来を担うグローバル人材の確保と育成」、「安全・品質・CSR活動のグローバル体制の構築」を推進し、企業価値の向上を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は12,931百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は653百万円(前年同期比40.2%減)、経常利益は734百万円(前年同期比42.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は342百万円(前年同期比58.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、一貫加工である Netzun ブランドの事業効率化とお客様満足度の一層の向上を目的とした組織変更に伴い、「IH事業部関連事業」の中空ラックバー及び建機用旋回輪事業等を「製品事業部関連事業」に変更しております。このため、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値と比較しております。

#### ① 製品事業部関連事業

土木・建築関連製品の売上高は、オリンピック関連を含む大型PJ件数の減少、更に2018年度末から投入を開始した新商品・新工法の採用遅れ等により、前年同期と比較し減少いたしました。

自動車部品関連製品の売上高は、海外向け及び海外拠点での販売が減少しましたが、国内向けは堅調に推移し、前年同期並みの売上を確保できました。

建設機械部品関連製品の売上高は、国内外での販売が低下したことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

この結果、売上高は6,906百万円(前年同期比5.1%減)となりましたが、自動車・建設機械部品関連製品で展開中の新商品立ち上げに伴う費用の増加及び各関連製品の販売量減少による固定費負担の増加等により、営業利益は125百万円(前年同期比76.2%減)となりました。

#### ② IH事業部関連事業

熱処理受託加工関連の売上高は、マイルド浸炭事業が堅調に推移したものの、自動車向けや工作機械向けの受注が伸び悩んだことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

誘導加熱装置関連の売上高は、地域により受注の増減はあったものの、前年同期並みの売上を確保できました。

この結果、売上高は5,990百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は506百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

#### ③ その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。

当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は34百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益は18百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は80,013百万円(前連結会計年度末比0.8%減)となりました。この主な要因は、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は15,657百万円(前連結会計年度末比2.5%減)となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は64,355百万円(前連結会計年度末比0.4%減)となりました。この主な要因は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、「2019年3月期 決算短信」(2019年5月13日)公表時点から修正は行っておりません。

なお、予測数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,506	14,647
受取手形及び売掛金	12,779	10,833
電子記録債権	4,450	4,204
商品及び製品	1,188	1,186
仕掛品	1,795	1,806
原材料及び貯蔵品	2,041	2,064
その他	1,658	2,226
貸倒引当金	△29	△25
流動資産合計	37,391	36,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,602	8,545
機械装置及び運搬具（純額）	10,441	10,289
土地	9,833	9,832
建設仮勘定	956	1,294
その他（純額）	366	376
有形固定資産合計	30,201	30,338
無形固定資産		
借地権	679	688
のれん	1,070	1,023
その他	146	141
無形固定資産合計	1,896	1,853
投資その他の資産		
投資有価証券	10,343	10,063
長期貸付金	34	34
退職給付に係る資産	76	73
その他	787	785
貸倒引当金	△80	△81
投資その他の資産合計	11,161	10,876
固定資産合計	43,259	43,067
資産合計	80,650	80,013

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,906	2,751
電子記録債務	4,887	4,895
短期借入金	1,396	1,409
未払法人税等	351	181
賞与引当金	610	402
その他	2,669	2,950
流動負債合計	12,822	12,591
固定負債		
長期借入金	2,159	1,990
退職給付に係る負債	922	910
その他	147	164
固定負債合計	3,229	3,065
負債合計	16,052	15,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	4,724	4,724
利益剰余金	48,529	48,341
自己株式	△2,641	△2,641
株主資本合計	57,030	56,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,177	1,041
為替換算調整勘定	98	123
退職給付に係る調整累計額	△36	△34
その他の包括利益累計額合計	1,238	1,130
非支配株主持分	6,328	6,381
純資産合計	64,598	64,355
負債純資産合計	80,650	80,013

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	13,356	12,931
売上原価	10,316	10,159
売上総利益	3,039	2,772
販売費及び一般管理費	1,947	2,118
営業利益	1,092	653
営業外収益		
受取利息	15	23
受取配当金	79	79
持分法による投資利益	60	—
為替差益	—	5
その他	54	54
営業外収益合計	209	162
営業外費用		
支払利息	11	9
持分法による投資損失	—	65
為替差損	5	—
その他	1	6
営業外費用合計	19	81
経常利益	1,282	734
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	—	1
その他	—	0
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産売却損	—	7
固定資産除却損	9	16
その他	1	1
特別損失合計	11	25
税金等調整前四半期純利益	1,272	710
法人税等	321	241
四半期純利益	950	469
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	819	342
非支配株主に帰属する四半期純利益	131	126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	△135
為替換算調整勘定	△565	130
退職給付に係る調整額	15	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△204	△34
その他の包括利益合計	△718	△37
四半期包括利益	232	431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245	234
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	197



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,281	6,043	13,324	32	13,356
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	—	0
計	7,281	6,043	13,324	32	13,356
セグメント利益	528	548	1,077	14	1,092

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,077
「その他」の区分の利益	14
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,092

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,906	5,990	12,897	34	12,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	—	0
計	6,906	5,991	12,897	34	12,931
セグメント利益	125	506	632	18	651

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	632
「その他」の区分の利益	18
セグメント間取引消去	2
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	653

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、一貫加工である Netzrenブランドの事業効率化とお客様満足度の一層の向上を目的とした組織変更に伴い、「I H事業部関連事業」の中空ラックバー及び建機用旋回輪事業等を「製品事業部関連事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。